



修学旅行特集号

(出発前日) 4月24日 沖縄修学旅行を次の日に迎えての学年集会

集会の中では、代表生徒が前にでて、スローガンを確認し、力を合わせて成功させる想いを共有しました。学年の先生方からもみんなへ声掛けをし、「全員で楽しむ」ことの意味について考える時間をとりました。



(1日目) 4月25日 待ちに待った修学旅行当日



朝の集合時間、小雨がぱらつき、不安もある中での出発式。

向こうでは、晴天に恵まれることを期待し、バスに乗車。一路、神戸空港へ。初めて飛行機に乗る子もたくさんいて、ドキドキした気持ちで検査場を通過。離陸の際には、拍手が起こり、沖縄へ飛び立ちました。

空の上では、お菓子とドリンクのサービスに、みんなも大喜びでした。

沖縄到着後、みんなが予定よりも早く行動できたので、余裕の出た時間を利用し空港近くの映えスポット「ウミカジテラス」へ。大阪とは一転し、澄み渡るような青空の下、みんなで記念撮影。エメラルドグリーンに輝く海を眺め、沖縄に来たことを実感できました。



撮影も終わり、次の取組は平和学習として、クラスごとに分かれてのガマ体験、そして、ひめゆり平和祈念資料館の見学、平和祈念公園での式典へ。

バスでの移動の際も、ガイドさんから、学徒隊について話を聞き、気持ちを



切り替えてクラスごとに3つのガマへ。ガマでは、語り部さんからの当時のガマを使った病院壕の様子について説明を受け、ガマの中へ。天然の鍾乳洞



を使った壕で、懐中電灯の明かりを頼りに進んでいきました。当時の環境の過酷さに触れ、平和について考える時間となりました。ひめゆり平和資料館では、



ひめゆり学徒隊の方の写真や、自筆の手紙の展示に触れ、同年代の若者たちの想いを感じ、戦争を2度と起こしてはいけないと再確認。祈念公園でのセレモニーでは、みんなで織った千羽鶴を奉納し、平和への気持ちを込めて、全員での平和宣言、そして、平和の鐘を全員で合唱しました。

(2日目) 4月26日 沖縄の海を感じる体験活動

朝食を食べ、朝からホテル併設の海岸でのマリン体験。あいにく、波風が強くグラスボートは中止に。予定を変更しドラゴンボートの回数を増やし、自由遊泳の時間を増やしてマリン体験スタート！サンゴでいっぱいの沖縄の海で、おもいきり体験活動を満喫しました。また、海の中以外にも、海岸で拾ったサンゴや貝殻をあしらったフォトフレームづくりなど、大阪では体験できないような時間を過ごしました。



昼は、沖縄名物ソーキそばを食べ、次の目的地、美ら海水族館見学・オンザビーチカフェでのシーサー絵付け体験へ。美ら海水族館では、世界最大級の水槽での大きなジンベイザメのエサやりタイムに、イルカのオキちゃんショー。マナティやウミガメなどさまざまな生き物の生活に触れる体験をしました。シーサー絵付けでは、思い思いに色を塗り完成したシーサーを、店の外にある映えスポットをつかって撮影会。個性的なシーサーが沖縄の日差しに照らされて輝いていました。シーサーのバックには、砂浜にハート形に敷き詰められた石があり、みんなで写真を撮りました。



思い思いに色を塗り完成したシーサーを、店の外にある映えスポットをつかって撮影会。個性的なシーサーが沖縄の日差しに照らされて輝いていました。シーサーのバックには、砂浜にハート形に敷き詰められた石があり、みんなで写真を撮りました。



夜は、宿泊行事恒例、レクリエーション大会。演劇にダンス、歌に小ネタの披露。思いのたけをそれぞれに叫んだ50期生の主張など、盛りだくさん。時間が足りずにできなかった分は、帰ってきてから実施しましたが、最後まで大盛り上がりでした。



(3日目) 4月27日 国際通りでの班別散策

最終日は、晴天の中、沖縄のメインストリート国際通りへ。出発前に班で調べたお土産屋に美味しいご飯屋さんなど友達と一緒に歩く沖縄の街にテンションがあがり、サングラスやパーティー風の眼鏡をしてリゾート気分の子も。スタート当初、有名な紅芋タルトが売り切れ続出で、お土産購入に難航する姿もありましたが、各店舗に再入荷され一安心。



ほかにも、地元の特産品、名物も思った以上に種類がたくさんあり、どれがいいのか模索しながらのお土産探しになりました。お昼ご飯も、普段食べることのできない沖縄限定のお店や、よくあるファストフード店での沖縄限定メニューなど、それぞれの班で考えて、沖縄最後の一日を満喫しました。

最高の3日間でした。保護者のみなさまもご協力ありがとうございました。